

# 高 峰 登 山 報 告 書

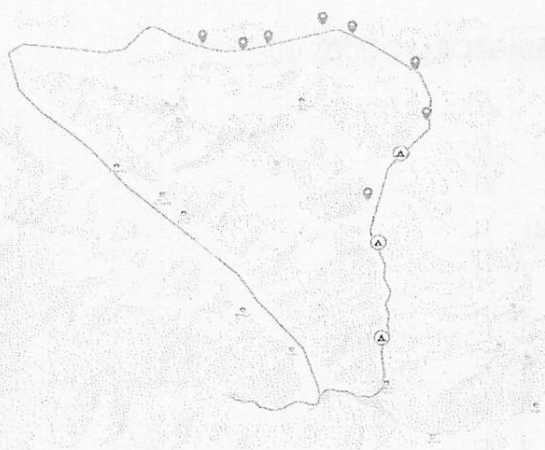
国名	パキスタン	山名	無名	標高	5650 m	地域名	Nobande-Sobande Glacier
隊名	KARAKORAM SKI EXPEDITION2023		派遣母体				
通常の登山以外は下記の中から該当するものを○で囲んでください。							
組織内公募登山		一般公募登山		国内商業登山		外国商業登山	その他
連絡先	氏名:	佐々木大輔		ローマ字	TEL		
	FAX	e-mail:					
	住所:	〒					
<b>登山内容</b>							
*登山期間(本隊の日本出国から帰国まで)				2023年	3月	20日	4月 20日
*ルート名:							
各隊によって名称が異なりますので低い順から訂正してください。)							
*キャンプ配置と設営日(隊員が初めて宿泊した日を設営日としてください。) 設営場所(※日の後に××氷河右岸とか○△尾根上など、平易に記して下さい。)	仮 BC	m	月	日			
	BC	m	月	日			
	ABC	m	月	日			
	C 1	4200 m	3月	31日			
	C 2	4400 m	4月	2日			
	C 3	4700 m	4月	3日			
	C 4	4800 m	4月	4日			
C 5	5040 m	4月	5日				
AC	5150 m	4月	7日				
*登山の成否: 成功 断念 最高到達点 5250 m地点 4月 7日 時頃							
*酸素:	持参しない						
*固定ロープ:	持参しない ( m持参した。) 使用実績[ ]						
隊の構成(都市滞在だけの方は除いてください。氏名のふりがなはローマ字でお願いします。)							
	氏名	フリガナ	性別	生年月日	歳	登頂日	電話番号
1	佐々木大輔	ササキダイスケ	男		才		
2	佐伯岩雄	サエキイワオ	男		才	月 日	
3	中川伸也	ナカガワシンヤ	男		才	月 日	
4	小西隆文	コニシタカフミ	男		才	月 日	
5	伊藤裕規	イトウユウキ	男		才	月 日	
6	元起大智	モトキダイチ	男		才	月 日	
7	國見祐介	クニミユウスケ	男		才	月 日	
高所ポーター(登攀活動に従事した者のみ記入してください。)ガイド=G、サダー=S							
	氏名	年齢	登頂日	氏名	年齢	登頂日	
1		才	月 日	2		才 月 日	
連絡官				歳) 通訳			
BC要員	コック	キッチン		メー			
報告書	書名	判形	判	頁	年 月 発行		
その他発表した記録							

## 登山概況

イスラマバードからスカルドゥまでは国内線飛行機の予定だったが、フライトキャンセルになり、カラコラムハイウェイを1泊2日で陸路で行く事になった、スカルドゥで登山の準備を整え、ランクルで最終集落アスコレへ  
K2と同じ入山口である、最終集落Askole標高3000mからポーターと出発  
panmah glacierをポーター・ドンキーと共に4日間キャラバンし、4200mで氷河にのったところでポーターと離れる  
そこからメンバーだけでそりをひき、Nobande-Sobande glacierをまわりこみ5150mまで行く  
そこから無名峰を何本か滑り、5650mのSkam La passを越え、snow lake、Biafo Gracierを周回する予定だったが、  
5150mキャンプにつき夜を越した時にメンバー一人が肺水腫を発症  
標高を下げる他ないので、Skam la pass越えは断念し、同ルートに戻る  
標高を下げる搬送は日中の暖かい時間に行動した為、朝の早い時間帯はスキー滑走を行った

## 概念図

## 山の全景写真



## 天候の状況

氷河にのった4200m~5000m付近までの行動中は曇り・小雪がチラつく天候で気温も-10℃程度で  
そこまで冷え込まなかった、ただ高標高帯は大量降雪があった  
曇りの天候でも雲が薄いと強い日射を感じられ、体感気温は暑くベースレイヤー1枚での行動もあった  
標高5000m以上のキャンプでは高気圧の晴れ間にあたり、日中は日射で暖かいが、  
夜間と朝方は放射冷却で-25℃以下まで落ち込み寒かった、風は全行程でそれほど強い日はなかった

## 雪崩情報(被害が無いものについても発生状況を記入してください。)

Nobande-Sobande glacierを回り込んだ標高5150m地点では、到着前に大量降雪があり、  
全方位で自然発生の雪崩が発生していた  
またその降雪により滑走時には大きいスラフを伴い、スラフ処理に慣れていないメンバーは滑走に苦労していた  
また気温は低いが晴れると日射が非常に強く、雪面はその強い日射の影響を受け、  
上部数cmは重くなり、その下にどん深新雪があるという非常に滑るのが難しい雪質だった

テイクイン、テイクアウトを報告してください。

高山病予防薬として医薬品を使用しましたか？        した。 (下記に内容を記入)

ダイアモックス

入山時の特記事項(ローカルポーター、使役動物の雇用状況、道路状況など)

SkarduからAskoleまでは車移動、結構新しめのランドクルーザー、ハイラックスサーフが使われた  
Askoleからのアプローチのキャラバン4日間で、2日目と3日目はドンキーが荷物を運んでくれた  
ポーター達は行動食を持たず、3食毎回火を起こして小麦からチャパティを作り食べていた

バックキャラバンでは、Jhula Campという所までランドクルーザーが来ており、  
アプローチ1日目で歩いた20kmほどは、帰りは車でAskoleまで戻った

連絡官、高所ポーターなど現地スタッフの情報

同じ山、山域に入山していた他隊の情報についてお知らせ下さい。(登山隊名、人数、隊長名、連絡先、ルート名  
登山結果など分かる範囲で結構です。)

早い時期だったのでシーズンで一番最初の入山だった

その他の情報(登山だけではなく、地域情報などありましたらおしらせください。)

イスラマバード、スカルドゥといった大きな町では治安の悪さは感じなかったが、  
スカルドゥまで移動の際に陸路での移動になった為、その際はカラコラムハイウェイを通行する事になり、  
Dasu Damという2020年に建設が始まった中国の会社が建設している水力発電のダム付近を通る事になり、  
この辺りの治安が非常に不安定だった  
(2021年にダス・バス襲撃事件というタリバンの自爆テロにより14名が死亡した爆破現場)  
また同地区のインダス川支流のNallah川付近は土砂崩れにより通行止めになる可能性もあり、  
自分も帰路に通った際、通行止めになり通れなくなった、現地エージェントの機転で反対側から別の車を手配してくれ、  
全荷物を渡渉しながら運び、別の車へ乗り換えイスラマバードへ戻った

現地エージェント:

Adventure Tours Pakistan

名称:

住所 Office 303, Chenab Center, Opp Ufone Tower, Jinnah Avenue Blue Area, Islamabad, Pakistan

TEL +92 347 4100004 FAX e-mail info@atp.com.pk

評判: ありとあらゆる事に柔軟に対応してくれ、非常に親切でとても良いです